

様式 1（主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	5-(5)-イ	産業を担う人づくり	施 策	④建設産業を担う人材の育成・確保
			施策の小項目名	○多様な人材の確保
主な取組	業界等との連携による建設産業人材育成（多様な人材の活用）		対応する成果指標	建設産業の魅力発信事業等実施数
施策の方向	・ 顕著となっている人手不足対策については、若手や女性従業員を対象とした研修等を支援するなど、多様な人材の確保に取り組むとともに、AI、IoT、ロボット、ビッグデータ等の技術革新に対応できる人材を積極的に活用できる環境づくりを行い、今後の情報技術や新技術を活用した生産性向上の取組強化を図ります。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
若手や女性、新技術への対応等、多様な人材の活用に係る講習会の開催	県関係団体	若手や女性、新技術への対応等、多様な人材の活用に係る講習会の開催		
		講習会の開催回数（累計）		
		3回	3回（6回）	3回（9回）
担当部課【連絡先】	土木建築部技術・建設業課		【 098-866-2374 】	関連URL
				—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)			
予算事業名			—			予算事業名		—	
主な財源		実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額		R7年度			
						主な財源		実施方法	当初予算額
令和6年度活動内容						令和7年度活動計画			
若手や女性、新技術への対応等、多様な人材の活用に係る講習会を開催した。						若手や女性、新技術への対応等、多様な人材の活用に係る講習会を開催する。			

活動指標名	講習会の開催回数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	6回	5回	3回	3回（9回）	100.0%	順調	ICT施工講習会を開催し、新技術について普及を図った。また、総合評価落札方式講習会を開催し、若手や女性の技術者およびICT施工を活用するインセンティブを周知した。
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
目標を超える回数のICT施工講習会および総合評価落札方式講習会を実施したことから、取組は順調と判断した。 多様な人材の活用について普及・啓発を図った。							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和6年度の取組改善案				反映状況			
情報発信の強化・改善を行い、引き続き講習会を開催することで、多様な人材の活用を推進する。				ICT施工講習会においては、ICT活用工事の現場見学を行い新技術の普及を図った。総合評価落札方式講習会においては、若手や女性の技術者の活用およびICT活用工事実績が評価項目となっていることを周知し、多様な人材の活用を推進した。			

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	建設業を担う人材の確保は喫緊の課題であり、若手や女性の技術者およびICT施工の活用について、講習会において周知を図る必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	情報発信の強化・改善を行い、引き続き講習会を開催することで、多様な人材の活用を推進する。

様式 1（主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	5-(5)-イ	産業を担う人づくり	施 策	④建設産業を担う人材の育成・確保
			施策の小項目名	○技術者・技能者等の育成・確保
主な取組	若手建築士の育成		対応する成果指標	建設産業の魅力発信事業等実施数
施策の方向	・多様化・高度化するニーズに対応できるよう、技術者・技能者等の育成・確保に取り組むほか、海外建設市場等の新市場進出に向けた取組や国際交流等を通して、海外建設市場において必要とされる技術力や語学力、海外の商習慣等への知識を有する人材の育成・受入れを促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県内の若手建築士の育成および建築技術の向上と発展を図ることを目的に、若手建築士を対象とした設計競技を行う。	県	若手建築士を対象とした設計競技を実施し、金賞作品について設計業務を委託		
		設計競技金賞作品の提案者に対する設計業務の委託件数(累計)		
		1件	1件(2件)	1件(3件)
担当部課【連絡先】	土木建築部施設建築課		【 098-866-2416 】	関連URL
				-

様式 1 （主な取組）

2取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名	建築営繕管理費			
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	
県単等	委託	10,357	9,057	
令和6年度活動内容				
若手建築士を対象とした設計競技を実施し、当該競技で金賞を取得した作品を元に、翌年度以降の実施設計業務につなげる。				

(単位：千円)

予算事業名	建築営繕管理費		
R7年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	委託	14,551	
令和7年度活動計画			
若手建築士を対象とした設計競技を実施し、当該競技で金賞を取得した作品を元に、翌年度以降の実施設計業務につなげる。			

活動指標名	設計競技金賞作品の提案者に対する設計業務の委託件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	1 件	1 件	1 件	1 件（3 件）	100.0%	順調	若手建築士を対象とした設計競技を行い、当該競技で金賞を取得した作品を元に、翌年度以降の実施設計業務につなげた。

様式 1 （主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
奥武山公園庭球場管理棟について、若手建築士を対象とした設計競技を行った結果、23件（52名）の応募があり、若手建築士の意欲・企画提案能力・技術力の向上につながった。県発注業務の委託についても計画通り実施でき順調であった。	
（2）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度取組改善案	反映状況
施設管理者へ若手建築士の育成や建築技術の向上と発展について説明し、施設管理者と調整会議や現場視察等、密な連携・情報共有をする。	施設管理者および所管課へ若手建築士の育成や建築技術の向上と発展について説明し、関係団体からの意見聴取や現場視察から、対象施設への要求事項を整理し、設計競技の応募要項に反映した。

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	若手建築士の育成にふさわしい対象事業を継続的に選定するため、施設所管課へ広く情報提供することが必要である。	⑤ 情報発信等の強化・改善	施設所管課へ分任説明会等での設計競技の情報提供をして、若手建築士の育成や建築技術の向上と発展について説明し、対象施設の募集をする。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(5)-イ	産業を担う人づくり	施 策	④建設産業を担う人材の育成・確保
			施策の小項目名	○技術者・技能者等の育成・確保
主な取組	海外建設市場等の進出促進に向けた研修等の実施		対応する成果指標	建設産業の魅力発信事業等実施数
施策の方向	・多様化・高度化するニーズに対応できるよう、技術者・技能者等の育成・確保に取り組むほか、海外建設市場等の新市場進出に向けた取組や国際交流等を通して、海外建設市場において必要とされる技術力や語学力、海外の商習慣等への知識を有する人材の育成・受入れを促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
必要とされる技術力・語学力、海外の商習慣等への知識を有する人材の育成の促進を図るため、県内建設企業向けの海外建設市場等への進出促進に向けた研修等の取組を実施する。	県関係団体	県内建設企業向けの研修等の開催		
		海外展開に向けた研修等に参加した人数(累計)		
		20人	20人(40人)	20人(60人)
担当部課【連絡先】	土木建築部土木総務課		【 098-866-2384 】	関連URL
				—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

-

主な財源

実施方法

R5年度
決算額

R6年度
決算見込額

-

その他

令和6年度活動内容

令和 6 年10月28日から11月27日まで行われた2024年度JICA課題別研修「道路維持管理（C）コース」の実施。

予算事業名

-

R7年度

主な財源

実施方法

当初予算額

-

-

令和7年度活動計画

令和 6 年度実施の研修と同様の研修の実施。

活動指標名

海外展開に向けた研修等に参加した人数（累計）

R6年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

活動概要

実績値

R4年度

R5年度

17人

14人 (31人)

10人 (41人)

20人 (60人)

68.3%

やや遅れ

令和 6 年10月28日から11月27日まで行われた2024年度JICA課題別研修「道路維持管理（C）コース」において、県内建設企業が同研修プログラムに参加した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

2024年度JICA課題別研修「道路維持管理（C）コース」のプログラムの一つであるインフラツアーは、研修員（各国行政職員）と県内建設企業との人的・技術的ネットワーク構築を支援することも目的としている。県内建設企業からは計10人が参加しており、累計での達成割合が68.3%となったため、取組はやや遅れと判定した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案

反映状況

当該研修の認知度向上に向けて、県内建設企業向け海外展開に関連する情報発信等の強化を図る。
新たな研修の構築等に向けて、県内建設企業が海外展開に取り組むにあたり、必要となり得る新たな研修の素案等を含めた推進方策を実施する事業の実現を図る。

研修参加者を対象としたアンケートを通じて研修内容等へのニーズを把握するとともに、令和 6 年 7 月 1 日及び令和 6 年12月26日で実施された沖縄県－JICA連絡協議会に参加して意見交換等を行った。

- 8 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	令和6年度までの進捗状況でやや遅れであることから、取組に対するさらなる効果の発現を促すべく、2024年度JICA課題別研修「道路維持管理（C）コース」の認知度向上が必要である。	⑤ 情報発信等の強化・改善	当該研修の認知度向上に向けて、県内建設企業向け海外展開に関連する情報発信等の強化を図る。
⑦ その他（改善余地の検証等）	令和6年度までの進捗状況でやや遅れであることを改善すべく、2024年度JICA課題別研修「道路維持管理（C）コース」とは別の新たな研修の構築等、活動内容の拡充が必要である。	⑥ 変化に対応した取組の改善	新たな研修の構築等に向けて、県内建設企業が海外展開に取り組むにあたり、必要となり得る新たな研修の素案等を含めた推進方策を実施する事業の実現を図る。

様式 1（主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	5-(5)-イ	産業を担う人づくり	施 策	④建設産業を担う人材の育成・確保
			施策の小項目名	○技術者・技能者等の育成・確保
主な取組	途上国等の行政職員へ向けた現場視察の実施		対応する成果指標	建設産業の魅力発信事業等実施数
施策の方向	・多様化・高度化するニーズに対応できるよう、技術者・技能者等の育成・確保に取り組むほか、海外建設市場等の新市場進出に向けた取組や国際交流等を通して、海外建設市場において必要とされる技術力や語学力、海外の商習慣等への知識を有する人材の育成・受入れを促進します。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
必要とされる技術力・語学力、海外の商習慣等への知識を有する人材の受け入れの促進を図るため、途上国等の行政職員へ向けた現場視察等の取組を実施する。	県,JICA沖縄	JICA沖縄が実施する研修等において、県内現場視察実施		
		建設分野の研修等における視察現場件数（累計）		
		2件	2件（4件）	2件（6件）
担当部課【連絡先】	土木建築部土木総務課		【 098-866-2384 】	関連URL
				—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名	－				予算事業名	－	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額		R7年度		
					主な財源	実施方法	
－	その他				－		
令和6年度活動内容					令和7年度活動計画		
令和 6 年10月28日から11月27日まで行われた2024年度JICA課題別研修「道路維持管理（C）コース」での現場視察の実施。					令和 6 年度実施の研修と同様の研修での現場視察の実施。		

活動指標名	建設分野の研修等における視察現場件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	5 件	5 件（10件）	2 件（12件）	2 件（ 6 件）	100. 0%	順調	令和 6 年10月28日から11月27日まで行われた2024年度JICA課題別研修「道路維持管理（C）コース」ののインフラツアーにおいて、 2 件の現場視察を実施した。

様式 1 （主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
2024年度JICA課題別研修「道路維持管理（C）コース」のプログラムの一つであるインフラツアーは、研修員（各国行政職員）と県内建設企業との人的・技術的ネットワーク構築を支援することも目的としている。同プログラムで本県が整備または管理をしている道路である「幸地インターチェンジ」ほか1件を含む計2件の現場視察を実施したことから、取組は順調と判定した。	
（2）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
新たな研修の構築等に向けて、JICA沖縄との連携の強化を図る。	令和6年7月1日及び令和6年12月26日で実施された沖縄県－JICA連絡協議会に参加し、JICA沖縄に関する情報収集に努めた。

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	令和6年度までの進捗状況が順調であることから、取組に対するさらなる効果の発現を促すべく、JICA課題別研修「道路維持管理（C）コース」とは別の新たな研修の構築等、活動内容の拡充の検討をする。	② 連携の強化・改善	新たな研修の構築等に向けて、JICA沖縄との連携の強化を図る。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	5-(5)-イ	産業を担う人づくり	施 策	④建設産業を担う人材の育成・確保
			施策の小項目名	○技術者・技能者等の育成・確保
主な取組	住宅建築に係る技術者講習会の開催		対応する成果指標	建設産業の魅力発信事業等実施数
施策の方向	・多様化・高度化するニーズに対応できるよう、技術者・技能者等の育成・確保に取り組むほか、海外建設市場等の新市場進出に向けた取組や国際交流等を通して、海外建設市場において必要とされる技術力や語学力、海外の商習慣等への知識を有する人材の育成・受入れを促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
建築関係技術者向けの講演会で、沖縄の伝統木造住宅(古民家)などについて講演し、古民家の再生・活用の普及・啓発する。	県	住宅建築に係る技術者講習会の開催		
		講習会の開催回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	土木建築部住宅課		【 098-866-2418 】	関連URL
				—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)							
予算事業名			地域住宅施策推進事業			予算事業名			地域住宅施策推進事業				
主な財源		実施方法		R5年度 決算額		R6年度 決算見込額		R7年度					
内閣府計上		委託		2, 204		2, 148		主な財源		実施方法		当初予算額	
内閣府計上		委託		2, 204		2, 148		内閣府計上		委託		3, 200	
令和6年度活動内容						令和7年度活動計画							
県内建築技術者の技術向上を目的として、技術者向け講習会・講演会を開催した。						県内建築技術者の技術向上を目的として、技術者向け講習会・講演会を開催する。							

活動指標名		講習会の開催回数(累計)		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値		R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
1回(1回)		1回(2回)	1回(3回)	1回(3回)	100.0%	順調	「琉球瓦葺技術の継承と伝承者の養成」や「沖縄の気候風土適応住宅認定基準の活用」をテーマとする技術講習会を開催した。県内の建築技術向上や建築人材獲得を目的とした建築講演会を開催した。	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

全体受講者は128人（来場者83人、Web受講45人）となり、多くの建築技術者（建築士、建設会社、学生など）が受講した。住宅建築に係る技術者講習会の開催の令和6年度実績は1回となり、目標値に達したことから、取組は順調と判断した。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
受講対象を施工関係や工業系高等学校の学生などにも幅広く範囲を広げて周知を図ることで、受講者数をさらに増やしていきたい。	建築士会による会員や、学校、関係機関への周知を図った。講演会後のアンケートでは、講演会を知った媒体で「知人・団体からの紹介」が大多数を占めており、関係機関への周知の効果があつた。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	講習会の開催をとおして、県内技術者の総合的な技術力向上や技術の継承が重要となっており、若年技術者の受講者数を増やしていくことが課題である。	⑧ その他	若年技術者の受講者数増加を図るため引続き、建設業に加え、大学、工業高校、専修学校等の技術系学生に対し、幅広く講習会の周知を図っていく。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	5-(5)-イ	産業を担う人づくり	施 策	④建設産業を担う人材の育成・確保
			施策の小項目名	○労働環境の改善
主な取組	県発注工事における休暇の取得		対応する成果指標	建設産業の魅力発信事業等実施数
施策の方向	・ 週休二日制の促進など労働環境の改善を図り、将来の建設産業を担う人材を確保するための建設産業の魅力発信に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
建設産業を担う人材の確保のため、週休2日の取組促進の周知活動を実施する。	県	週休2日の取組促進の周知活動の実施		
		説明会の開催回数(累計)		
		2回	2回(4回)	2回(6回)
担当部課【連絡先】	土木建築部技術・建設業課		【 098-866-2374 】	関連URL
				-

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)					
予算事業名		—				予算事業名		—			
主な財源		実施方法		R5年度 決算額		R6年度 決算見込額					
—		—		—							
令和6年度活動内容						令和7年度活動計画					
県および市町村職員を対象に週休2日の取組内容に関する説明会を開催。さらなる意識向上を図るため、毎月第4土日を「現場一斉閉所日」の取組を継続。						県および市町村職員を対象に週休2日の取組内容に関する説明会を開催。さらなる意識向上のため、毎月第2土、第4土日を「現場一斉閉所日」と設定。					
活動指標名		説明会の開催回数（累計）		R6年度			進捗状況		活動概要		
		R4年度		R5年度		実績値(A)		目標値(B)		達成割合 A/B	
実績値		2回		2回		2回		2回（6回）		100.0%	
								順調		発注者である県および市町村の職員への説明会を開催した。	
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果											
県および市町村職員に対して、令和6年4月に適用された時間外労働の上限規制を踏まえた週休2日の必要性および取組内容等に関する説明会を2回開催した。											
(2) これまでの改善案の反映状況											
令和6年度の取組改善案						反映状況					
対面形式およびオンライン形式を併用した説明会を実施し、より効果的な周知を図ることができるよう取り組む。						対面およびオンラインによる説明会を開始し、より効果的な周知を図ることができた。					

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	オンライン形式による説明会を実施することで、幅広く周知できた。	⑥ 変化に対応した取組の改善	引き続き、オンライン形式を活用した説明会を実施し、より効果的な周知を図ることができるよう取り組む。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	5-(5)-イ	産業を担う人づくり	施 策	④建設産業を担う人材の育成・確保
			施策の小項目名	○労働環境の改善
主な取組	労働環境の改善		対応する成果指標	建設産業の魅力発信事業等実施数
施策の方向	・ 週休二日制の促進など労働環境の改善を図り、将来の建設産業を担う人材を確保するための建設産業の魅力発信に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
建設工事従事者の労働環境改善を図るため、建設工事従事者の安全及び健康の確保に関する県計画を推進し、各関係機関は安全及び健康の確保に関する取組を実施する。	県関係団体	労働環境改善に係る取り組みの実施		
		沖縄県建設工事従事者安全健康確保推進会議の開催回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	土木建築部技術・建設業課		【 098-866-2374 】	関連URL
				—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)				
予算事業名		—			予算事業名		—		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額		R7年度				
				主な財源	実施方法	当初予算額			
—	—	—			—	—			
令和6年度活動内容					令和7年度活動計画				
各関係機関の取組内容と課題を整理し今年度の取組を実施する。 あわせて国計画の変更に伴う県計画の見直しを実施する。					各関係機関の取組内容と課題を整理し今年度の取組を実施する。				

活動指標名	沖縄県建設工事従事者安全健康確保推進会議の開催回数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		沖縄県建設工事従事者安全健康確保推進会議を行い、各関係行政機関及び建設業関係団体との連携、調整を図る。
	1 回	1 回	1 回	1 回（3 回）	100. 0%	順調	

様式 1 （主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
沖縄県建設工事従事者安全健康確保推進会議を行い、各関係行政機関及び建設業関係団体と県計画の見直し案について意見交換を行った。また、関係機関からの労働災害の情報等について情報共有を行った。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
県の計画（案）を整理し、沖縄県建設工事従事者安全健康確保推進会議で議論する。	令和6年度の沖縄県建設工事従事者安全健康確保推進会議で県の計画見直し（案）について意見交換を行い、県計画の見直しを行った。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	見直しを行った県計画に対する各関係団体の取組状況や課題について、情報共有を行う必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	令和7年度も沖縄県建設工事従事者安全健康確保推進会議を開催し、取組状況や課題について共有し、連携を図る。